

2019年12月19日

いすゞがVolvoと戦略提携へ——財務負担あるが収益基盤にプラス

いすゞ自動車（証券コード：7202、発行体格付=A）は18日、スウェーデンのAB Volvo（A+）と商用車分野での戦略的提携に向けた覚書を締結した。両社は先進技術への対応に加え、日本とアジアなどでの大型トラック事業、中・小型トラックにおける幅広い領域について協業を検討していく。これに加え、いすゞはVolvoが保有する子会社UDトラックスの全株式とUDブランドの海外事業を取得する。その事業価値の見積もりは約2500億円としている。関連当局の認可などを経て、2020年末までの手続き完了を目指す。

UDの事業価値からみて、いすゞには財務負担を伴うことになる。いすゞはもともと財務基盤が良好で、一定水準の資本負債構成を保てそうだが、最終的な譲渡価格や資金調達の方法を確認する必要がある。一方、収益基盤にはプラス効果があろう。いすゞはUD事業取得により同社が展開する日本やアジアで事業規模やシェアの拡大が見込める。またVolvoとの提携はコネクテッドや自動運転、電動化といった先進技術の開発に寄与する可能性がある。商用車も含めて自動車業界の構造が変化しており、先進技術や物流革命への対応が不可欠だ。財務基盤への影響とともに、収益基盤へのシナジー効果に注目していく。

Volvoにとっては、UD事業の譲渡によるキャッシュインに加えて、提携によるプラス要素もある。ただしトラックや建設機械の世界的な大手である同社の事業規模の大きさからみて、格付評価を直ちに押し上げるほどの影響はない。

主任格付アナリスト：永井 荘一郎

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp
■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。